

2010年2月5日
日興アセットマネジメント株式会社

「日興ブラジル株式ファンド(愛称:情熱の国)」 足元の投資環境と今後の見通しについて

足元の投資環境

2月4日のブラジル株式市場は、以下①②を受け、投資家のリスク回避姿勢が高まったことなどから、ボブスパ指数で前日比▲4.73%となりました。また、為替市場においては円高が進行し、5日の通貨レアル(対円、仲値)が前日比▲3.33%となりました。なお、同様の理由から、欧米の株式市場が大きく下落したほか、5日のアジアの株式市場も軟調な展開となっています。

- ① ギリシャ政府が財政赤字削減計画を提示し、EUがこれを支持したことに伴い、ギリシャ同様財政状況の厳しいポルトガルやスペインに投資家の関心に移り、これらの国の財政再建に対する不安が拡がったこと。
- ② 米国の新規失業保険申請件数が市場予想に反して前週実績を上回り、米国の景気回復に対する懸念が拡がったこと。

今後の見通し

2010年の世界の株式市場は、中国における金融引き締め観測、および、ギリシャに代表される、欧州の一部の国での財政悪化懸念などを背景に下落傾向となっており、ブラジル株式市場および通貨レアルも大きな影響を受けています。ただし、ブラジル市場に関する足元の動きは、外部要因によるものであり、ブラジルの国内要因によるものではないと考えられます。なお、ブラジル株式市場および通貨レアルの2009年のパフォーマンスが、世界の中で特に好調だったことから、2010年に入り、投資家のリスク回避姿勢が高まるなかで、利益確定売りが拡がりやすい面があると考えられます。

振り返ると、2008年秋以降の世界的な金融危機は、主に欧米の金融機関が抱える問題に端を発したものでした。財政支出の拡大や金融緩和など、各国政府による景気対策の実施を背景に、2009年後半には、世界的な景気回復期待が拡がったものの、フランクリン・テンプレット・インベストメンツ(ブラジル)では、欧米の消費が金融危機以前の水準に回復するには時間がかかるとみています。ただし、今後の欧米の景気回復ペースが、想定よりも緩やかなものになったとしても、ブラジルの場合は、旺盛な個人消費に支えられ、内需が力強く推移しており、これが引き続き成長見通しを支えると考えています。

以上

上記は、「日興ブラジル株式ファンド(愛称:情熱の国)」のマザーファンドの投資顧問会社であるフランクリン・テンプレット・インベストメンツ(ブラジル)からのコメントです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方見方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や将来の運用成果などを保証するものではありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが「日興ブラジル株式ファンド(愛称:情熱の国)」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めるため、作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ご参考

【ボブスパ指数の推移】
(2005年12月末～2010年2月4日)



【通貨リアル(対円、仲値)の推移】
(2005年12月末～2010年2月5日)



※ボブスパ指数は当ファンドのベンチマークではありません。
 ※グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

お申込みに際しての留意事項①

● リスク情報

当ファンド(マザーファンドを含みます。)は、主に株式など値動きのある証券(外貨建証券は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

一般に株式の価格は、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

【流動性リスク】

市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。

一般に新興国の株式は、先進国の株式と比較して、市場規模や取引量が少ないため、相対的に流動性リスクが高いと考えられます。

【信用リスク】

一般に投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。

【為替変動リスク】

外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

【カントリー・リスク】

投資対象国における非常事態など(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。

一般に新興国は、情報の開示などの基準が先進国とは異なることから、投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。

ファンドの投資対象株式が上場または取引されている諸国の税制が先進国と異なる場合があります。また、それらの諸国における税制が一方的に変更されたり、新たな税制が適用されたりすることもあります。以上のような要因は、ファンドの信託財産の価値に影響を与える可能性があります。

お申込みに際しての留意事項②

● その他の留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「日興ブラジル株式ファンド(愛称:情熱の国)」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、日興コーディアル証券より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	: 日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会
投資顧問会社	: フランクリン・テンブルトン・インベストメンツ(ブラジル)
受託会社	: 住友信託銀行株式会社 (再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	: 日興コーディアル証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号 加入協会: 日本証券業協会、(社)日本証券投資顧問業協会、(社)金融先物取引業協会

お申込メモ

商品分類	: 追加型投信／海外／株式
お申込単位	: (新規申込)10万円以上1円単位 (追加申込)1万円以上1円単位
お申込価額	: お申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込不可日	: 取得申込日がサンパウロ証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、 ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、取得のお申込みの受付は行ない ません。詳しくは、日興コーディアル証券にお問い合わせください。
信託期間	: 2019年9月24日まで(2009年12月21日設定)
決算日	: 毎年9月24日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	: 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 ※原則として、収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。 再投資を停止し、分配金のお受取りをご希望される場合はお申し出ください。分配金 のお受取りをご希望される場合、日興コーディアル証券の定める所定の日よりお支払い いたします。
ご換金価額	: 換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
ご換金不可日	: 換金請求日がサンパウロ証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、 ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。 詳しくは、日興コーディアル証券にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	: 原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
課税関係	: 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- お申込手数料 : お申込手数料率は、お申込金額に応じて、以下のようになります。
1億円未満 3.6750%(税抜3.50%) 1億円以上5億円未満 2.1000%(税抜2.00%)
5億円以上10億円未満 1.0500%(税抜1.00%) 10億円以上 0.7875%(税抜0.75%)

- 換金手数料 : ありません。
- 信託財産留保額 : 換金時の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額(1口当たり)

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.764%(税抜1.68%)を乗じて得た額
- その他費用 : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息、貸株関連報酬 など
※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なり
ますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。